
KOHJINSHA EW シリーズ BIOS 設定プログラム説明書

◆ BIOS について

BIOS とはパソコン制御を行うプログラムの一種です。搭載されているメモリー、ハードディスクなどの情報を CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域に保存し、パソコンが起動するとき内容を比較することで、本体が正常かどうかのチェックを行っています。

その BIOS が記憶する情報を変更するプログラムが BIOS 設定プログラムです。

BIOS 設定プログラムで変更を行う場合、あとで参照できるよう、現在の設定をメモなどに控えておくことをお勧めいたします。

また、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、表示と多少異なる場合があります。

--- 注意事項 ---

BIOS 設定を間違えると、深刻なトラブルを引き起こすことがあります。

内容を変更する際はご注意くださいとともに、ご理解できない場合は変更を行わないことをお勧めいたします。

◆ BIOS 設定プログラムの起動方法

電源投入直後、KOHJINSHA ロゴが表示されているときに [F2] キーを数回押します。

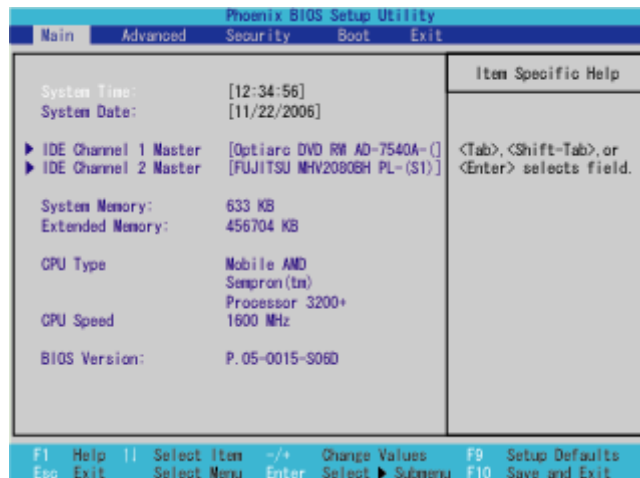


[図 1] KOHJINSHA ロゴ

本体のチェックが完了後、BIOS 設定プログラムのトップメニューが表示されます。

◆ トップメニュー

変更したい項目をカーソルキー[←][→]を使い、選択項目を変更します。



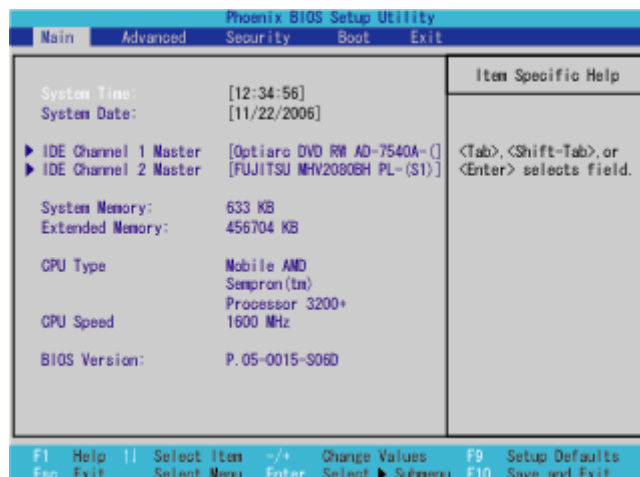
[図2] トップメニュー

トップメニューからは以下の各メニューへの切り替えができます。

- Main ... 本体の時刻設定、本体の状態確認
- Advanced ... ビデオメモリなど内蔵機器の設定
- Security ... パスワードなどセキュリティ設定
- Boot ... 起動順位設定
- Exit ... 設定の保存、取り消し、BIOS 設定の終了

◆ Main メニュー

変更したい項目をカーソルキー [↑][↓]で選択します。



[図3] Main メニュー

Main メニューからは以下の設定が行えます。

- System Time
本体の日付設定を行います。
数字キーで値を入力し、[Tab]キーを押すと次の項目に移動します。
- System Date
本体の時刻設定を行います。
数字キーで値を入力(24 時間制)し、[Tab]キーを押すと次の項目に移動します。

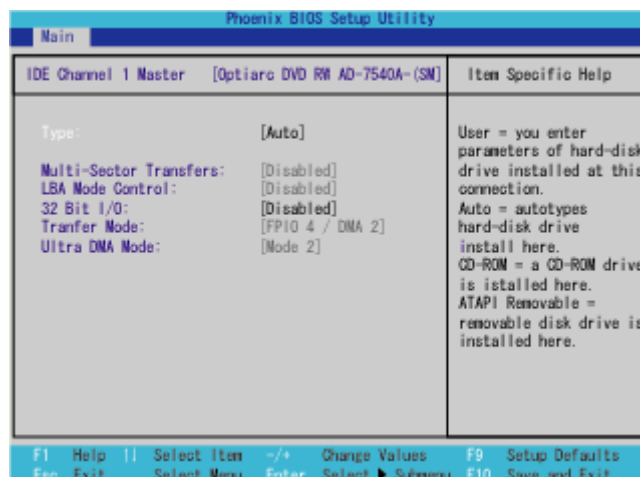
- IDE Channel 1 Master
Channel1 に接続されている機器の設定を行います。
[Enter]キーを押すと、Cannel 設定サブメニューが開きます。
- IDE Channel 2 Master
Channel2 に接続されている機器の設定を行います。
[Enter]キーを押すと、Cannel 設定サブメニューが開きます。

以下の項目は本機の設定が表示されます。

- System Memory ... システムメモリのサイズ
- Extended Memory ... 拡張メモリのサイズ
- CPU Type ... CPU の種類、型式
- CPU Speed ... CPU の動作周波数
- BIOS Version ... BIOS のバージョン

■ Cannel 設定 サブメニュー

変更したい項目をカーソルキー [↑][↓]で選択します。



[図4]Cannel 設定サブメニュー

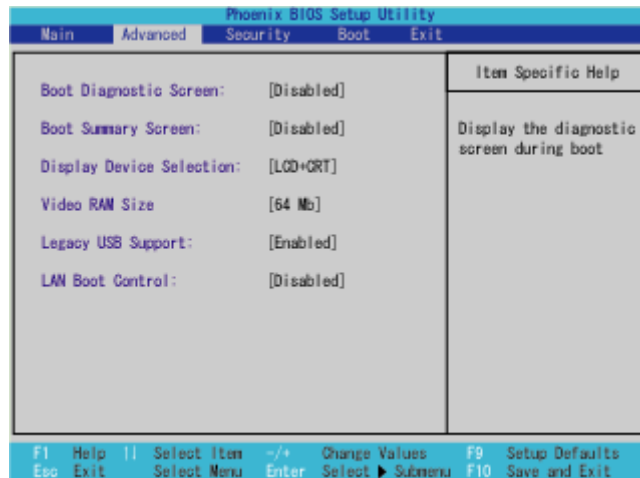
内蔵ハードディスクおよび光学ドライブの詳細設定を行います。

項目の内容を変更した場合、正常に動作しなくなる原因となりますので、変更は行わないでください

- Type ... 接続機器のタイプ設定を行います。
- Multi-Sector Transfers ... マルチセクター転送モードの設定を行います。
- LBA Mode Control ... LBA モードの設定を行います
- Transfer Mode ... 転送モードの設定を行います
- Ultra DMA Mode ... Ultra DMA モード設定を行います。

◆ Advanced メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[スペース]キーで、設定値を切り替えます。

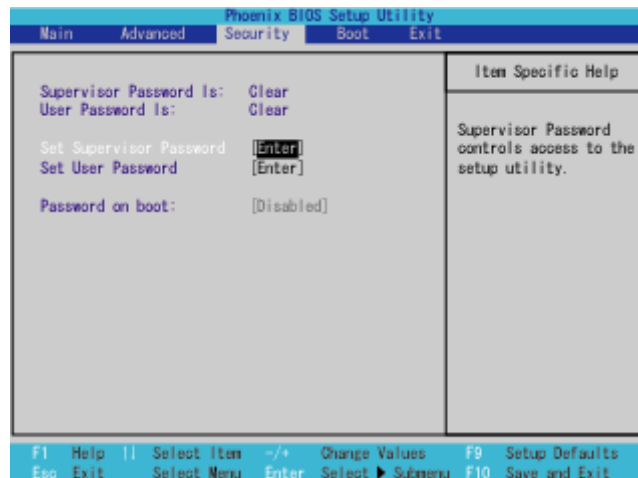


[図5] Advanced メニュー

- Boot Diagnostic Screen
起動時、検査画面を表示する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- Boot Summary Screen
起動時、サマリー画面を表示する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- Video RAM Size
メインメモリからビデオメモリに割り当てるメモリの量を指定します。
メモリ割当量は 64MB または 128MB となります。
- Legacy USB Support
Legacy OS 使用時、USB ポートのエミュレーションを使用する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- LAN Boot Control
LAN からの起動を許可する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。

◆ Security メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーで設定を行います。



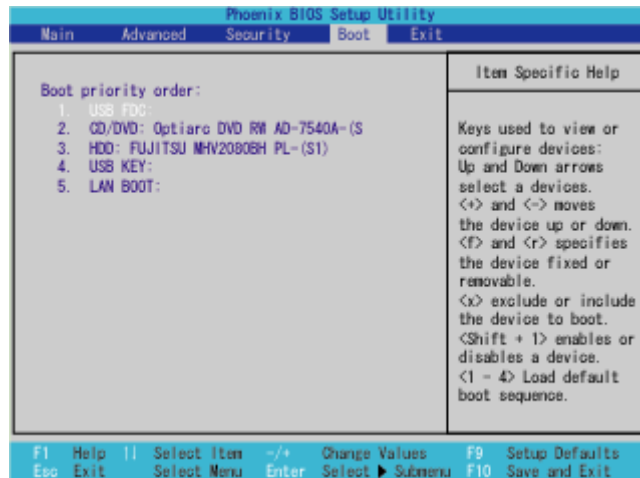
[図6] Security メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーでそれぞれのメニューを表示します。

- Supervisor Password Is :
Supervisor Password が設定されている場合 “Set”、未設定の場合、“Clear” が表示されます。
 - User Password Is :
User Password が設定されている場合 “Set”、未設定の場合、“Clear” が表示されます。
 - Set Supervisor Password
BIOS 設定の変更を、パスワードにより制限を行います。
すでに、パスワードを設定しているときは “Enter Current Password” が表示されます。
現在設定しているパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
“Enter New Password”の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
同一手順で“Confirm New Password”項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
パスワードが設定された場合、「Supervisor Password Is :」が“Set”と表示されます。
現在設定されているパスワードを解除する際は、“Enter New Password”、“Confirm New Password”とも何も入力せずに[Enter]キーを押します。
パスワードが解除された場合、「Supervisor Password Is :」が“Clear”と表示されます。
 - Set User Password
Set Supervisor Password と同一の手法で設定を行います。
- ✓ パスワードの長さは最大8文字以内です。
✓ User パスワードで BIOS に入った場合、Boot メニュー他、一部の設定の変更を行うことは出来ません。
- Password on boot
本体起動時、パスワードによる起動制限を行います。
Supervisor/User パスワード設定時、設定時のみ使用可能です。
有効(Enabled)/無効(Disabled)から選択をします。

◆ Boot メニュー

機器の起動する優先順位を設定します。
数字の順番が起動順位となります。

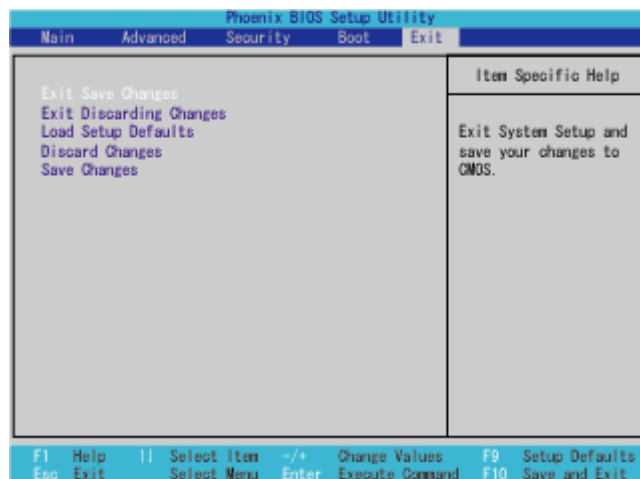


[図7]Boot メニュー

優先順位を変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]+[;]キーおよび[Fn]+[/]キーで、順位を切り替えます。

◆ Exit メニュー

Exit メニューからは以下の設定が行えます。
変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーで決定します。



[図8]Exit メニュー

- Exit Saving Changes ... 現在の設定を保存し、BIOS 設定プログラムを終了します。
- Exit Discarding Changes ... 現在の設定を破棄し、BIOS 設定プログラムを終了します。
- Load Setup Default ... 現在の設定を破棄し、初期設定値にもどります。
- Discard Changes ... 現在の設定を破棄し、以前保存されている値にもどります。
- Save Changes ... 現在の設定を保存します。

各項目を決定すると、内容確認のためのメッセージが表示されます。
その実行する場合は[Yes]、取り消す場合は[No]をカーソルキー [←][→]で選択します。
[Enter]キーを押すと決定します。